

～ 講習を受講された方からのご意見について ～

・いきなり上役を出さないことを推奨されても小規模事業者は対応時の多人数対応など現実的に厳しい、その辺のフォローが欲しい

人数の少ない小規模事業者の方は、不当要求を受けた場合等の対応に苦慮されることもあろうかと思いますが、不当な要求をしてくる輩に、いきなりトップ等決定権を持つ方が対応されるようなことがあれば、即答を迫られてしまうことから、いきなりトップの方は、対応しないようにお願いします。

また、来訪してきた相手より多い人数で対応しがたい場合は、応接室等対応する場所に入室させる相手の人数を制限し、あくまで、こちら側が有利な人員となるような配慮、対応をお願いします。

・講習会の場所、選択がもっと充実してほしい

責任者講習は、公安委員会から指定された計画に基づき当センターが警察や弁護士会等と連携しながら実施(公安委員会からの委託事業)しているところであります。

できる限り受講者の皆さんが利便性の良い場所で受講が出来るよう、東予・中予・南予の各地区に分けた会場講習や、Web講習の実施等、それぞれの講習の実施回数を含め、公安委員会と事前検討のうえ実施しておりますので、ご理解の程よろしく願いいたします。

更なる要望等があれば、来年度からの講習に反映していきたいと考えております。

・オンラインでやるのであれば、いつでも受講できるようにしてほしい

不当要求防止責任者講習の実施対象(受講者)は、暴力団対策法(第14条第1項)の規定に基づき、暴力団からの不当要求による被害を防止するため、各事業所において選任された責任者であり、暴力団対策法施行規則で、選任された責任者が受ける講習の種別(定期講習、選任時講習、臨時講習)や、講習時間等がそれぞれ定められております。

また、この施行規則には、公安委員会からの講習通知書の送付や受講者の方から公安委員会への講習受講申込書の提出、受講修了者には、公安委員から受講修了書を交付すること等が細かく規定されており、これらに基づき、また皆さんからの事前の講習希望等を踏まえたうえで、各受講者の受講日時や場所(Web含む)等を公安委員会が決定し、不当要求防止責任者講習を実施しているところであります。

このように法令等で厳格に規定された講習ですので、いつでも受講できるというものではありませんので、ご理解の程宜しく願いします。

・録画したものを何回も見れるようにしてほしい

不当要求防止責任者講習は、前述のとおり法令等に基づく講習であり、事業者等から選任された特定の方(責任者)に対する講習です。

受講者には、教本(マニュアルやレジュメ)等^{を無償交付し}、暴力団等からの不当な要求行為による被害を防止するために大変、重要な講習であり、悪意ある者へのデータ拡散防止の観点からも講習状況の録音・録画は認めておりませんので、ご理解をお願いします。

・暴追センターの存在や利用の呼びかけを一層行って頂きたい

暴追センターの活動にご理解を頂きありがとうございます。

当センターでは、これまでも地元新聞の広告欄や各種ポスター、暴追センターのホームページ、LINE 等 SMS の活用、更には責任者講習や暴排協議会等で幅広く暴追センターの事業活動等について広報啓発活動等を行ってきましたが、今後、更に県民の皆様に暴追センターの存在や活動内容が浸透していくよう努力していきたいと思っております。

・不当要求を受ける機会の多い職場なので、職員全員に DVD 視聴機会があればよい

責任者講習の状況については、録画配信等はできませんが、講習時に使用した DVD は無償貸出をしております。不当要求対応要領の DVD を数多く揃えておりますので、ご利用下さい。詳しくは、当センターの HP をご確認ください。

・午後の開催だと眠くなる。午前中のほうが望ましいと思う

ご意見を参考にさせていただきます。

・県内に 290 人、宇和島市内にどれくらい暴力団員がいるのか、知りたい

県警の公表では、昨年末現在の県内の暴力団勢力は、約 35 団体、約 290 人ではありますが、その詳細については、公表されていませんので、宇和島市内等各地区における暴力団勢力まではお答えすることが出来ません。

・Zoom を使った講習会だった為、スムーズに受講することが出来ました。今後の講習も是非 Zoom を使って実施してほしいです。また途中の受講確認の際に口頭でなくチャットや画面表示にて何番～何番と伝えてもらった方がわかりやすいと思いました

Zoom 導入の感想ありがとうございます。今後も Zoom での開催を予定しております。途中の受講確認を口頭でしているのは、講習を確実に聴かれているのかを確認するためです。(音声を消している等、講習を聴いていない方は、回答が出来ないことと思います。)

口頭での確認について、画面への入力と異なり聞こえづらい点もあろうかとは思いますが、受講状況確認のためであり、ゆっくりと数回反復して、確認する受講番号の範囲を伝えることとしておりますので、宜しく願いしたいと思います。

・職場単位で簡単に研修できれば良いと思う

職場単位で一カ所に集まり、まとまって受講されている方もいらっしゃいます。自社でご検討してみして下さい。ただ、責任者講習の受講時間は、規則等により定期講習、選任時講習とも、3時間以上が必要です。

・最初の準備があまり整っていない。受付出来ている案内も口頭のみだが画面表記するなどしてほしい

Web 講習については、Zoom の操作に不安がある方の為に、事前(9/2)の回線接続試験を実施しました(チャット機能利用による受付確認まで実施)。

この事前の接続試験を実施したことにより、講習当日(9/6 実施)は、割りと多くの方がスムーズにチャット機能を利用した受付確認が出来たと感じており、今後も事前の接続試験は、継続したいと考えております。

講習当日は、講習開始の 1時間前(午後 0 時 30 分)から受付を実施し、早い段階で受付をされた方につきましては、チャット機能で受付完了を送信することが出来ました。

しかしながら、講習開始直前に受付をされたり、事前にお断りしているにも関わらず、講習開始の1~2分前に「受講番号が分からない」「レジュメがない」等の問い合わせや、自分の受講番号を何度も送信したりする方がおられました。

約 170 名が出席する講習で、時間ギリギリでの対応は当然出来ませんし、他の方のご迷惑にもなりますので、今後は皆様のご理解とご協力をお願い致します。

・Web のやり方が分かりにくい。

前述のとおり、操作が不安な方のために、事前の接続試験を実施しており、その際質問があれば、その場で解答することとしております。

Web 講習が不安な方は、会場講習を選択されるか、事前の接続試験に参加して頂き、講習当日は、自信を持って受講出来るようにして下さい。

・接続確認が取れている筈なのに、接続等の対応者を一人選任すべき！

途中で受講確認をしているのは、受講者が「確実に受講している」ことを確認するためです。法令等に基づく責任者講習ですので、パソコンを接続したままで、その場を離れられては、受講したことになりません。ですから、その確認のために、受講確認をしています。アクセスログで接続確認はできますが、講習を聴いているか否かを確認するために、途中で受講確認をさせていただいております。

事前に説明しておりますが、アクセスログで確認ができて、呼びかけに応じていただけない等、受講確認が出来なかった場合は、受講修了書をお渡しできない場合がありますので、確実な受講と、受講確認時の確実な受講番号の入力をお願いします。